

生物生産研究農場

教職員写真同好会 伊藤仁浩



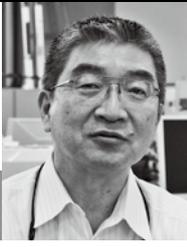
北大生協にて主に環境課題推進を担当しています軸丸と申します。北大生協は、今年生協創立70周年を迎えました。創立した年は、1947年第2次世界大戦後2年という戦後の混乱期に、当時の教職員・学生が、特筆されるべきは学長が発起人に加わって生協を設立しました。出資金は30円でした。当時の30円は、学生にとつてはとつても大変なお金だったと想像します。生協では、記念すべき70周年にあたり、今後記念事業を執行うことになっていきます。今号オピニオンにその記念事業のイントロとして、生協職員として思っていることを述べてさせていただきます。環境課題を担当していると、ひとと自然、このバランスが難しく、目の前の利益にこだわってでは解決できない問題が多く、むしろ、大局的見地に立って考えなければならぬことが多いということを実感します。それもあり、何かと短期的利益にこだわって、大事な何かを失っていないか気になるこの頃です。そんななか、出合った本が渋滞学で著名な数理論学者の西成活裕氏が書かれた『逆説の法則』（新潮選書）です。本の帯に「短期的思考、ニッポンの大弱点！勝者のための長期的思考」というフレーズに思わず、まさにこれだと買ってしまった。

この本の冒頭に「損して得をとる」ということを記述している箇所があり、ふと思いついたことがあります。私が、40才代のころ（もう20年前）印刷事業部の訪問営業を担当しており、M先生に大変お世話になりました（学術雑誌の編集の仕事を一からご指導していただきました）。M先生は生協の役員もされ

こころの「虹」は消えない。

北大生協 職員
軸丸典彦

Opinion!



ており、ある日こんな話しをされました。「生協の役員をしているが、君割に合わないよ。経営が良くても自分には何も報酬はない。だけど、ひとたび赤字になればわれわれが責任を負うことになる。倒産したら無限責任をだよ。だから君たちには頑張ってくれなければ。」といって真顔で話されたことが、強く脳裏に残りました。最初は、ご苦労の多い先生のご

苦労話か愚痴話かなと思いましたが、時間が経つうちに、先生が仰りたい真意は、別にあるのではないかとぼんやりですが考えるようになりました。その後、組合員活動に関連する業務を担当することになり、イベントの準備をするため、1995年に国際協同組合同盟（ICA）のマンチェスター大会で採択された「協同組合のアイデンティティ声明」の7つの原則のうち第2原則「組合員による民主的管理」と第3原則「組合員の経済的参加」を読んだときです。生協というのは、組合員自らが自発的に参加するまっさしくボランティア組織であり、組合員による民主的管理組織であり、その責任を分かち合っているということを書き記述しており、先生はそのことを伝えたかったのではないかと確信しました。思いを実現するため、利己的行動をとらず、利他的行動をとってともに実現する、その苦労をいとわず責任を持って参加するということだと思えました。損して得をとる、いや損して「徳」をとるかもしれません。意志と仲間があるところ、希望は生まれます。その希望は、虹となつて脳裏に強く残るものだと思います。今の状況を見てクライアント博士ならなんて言うだろうか。やっぱり今も、「Be-Ambitious!」70年経つてもその熱い思いはますますつづいていると思います。

KIBO NO NIJI
きぼうの虹

発行所
北海道大学生協同組合
札幌市北区北8条西7丁目
教職員委員会編集
電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 二面 北大・自転車・清浄化プロジェクト&自転車企画
- 六面 こころの健康を考える④ 男子の成長、女子の成長
- 七面 文化財へ行く 第3回

北大生協学生委員 稲垣 征哉
北海道大学大学院 教育学研究院 渡邊 誠
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 加藤 克



北大・自転車・清浄化プロジェクト&自転車企画



北大生協学生委員
理学部 3年
稲垣 征哉

北大生協学生組織委員会では、昨年から北海道大学学務部学生支援課と協力して北大学生の自転車マナーの改善のための活動を行うために準備を続け、この夏多くの活動を実現することができました。

きっかけは昨年5月、学生支援課から学生と協力して北大学生の自転車マナーを改善したいというお話をいただいたことでした。そのころ北大生協でも、共済の給付申請で報告される北大学生の自転車事故を学生委員や生協職員それぞれの視点から交流する中で、北大学生の自転車マナーを改善できる企画を行いたいと思っていたところでした。そしてなにより北大学生自身が自らの自転車マナーを悪いと思っ

ています(過去2年間で北大学生213人といったアンケート結果では141人が「悪い」「どちらかといえば悪い」と答えています)。具体的な活動をご紹介します。

① 食堂での呼びかけ

北部・中央・クラーク各食堂に設置されたキャンパスTVにて、自転車マナー啓発を行っています。

② 高等教育推進機構での呼びかけ
主に1年生が利用する高等教育推進機構では、入口を入ってすぐのところ、イラストと「北大学生は自転車マナー守れるよね?」という言葉をホワイトボードに貼り、北大学生に自転車マナーを守って登校できたかを確認してもらえ



高等教育推進機構入口の掲示板

③ 大学各所での活動

④ 無料自転車点検企画の実施
自転車の点検不足で危険な自転車に乗っている北大学生もいます。そのような自転車を一つでも多くなくすために、7月20、21日に自転車業者さんと協力して自転車点検を行いました。今年で3年目の企画ですが、過去最高の240人



北大構内の駐輪場に設置した看板



北大構内での看板設置作業

休講情報のお知らせがされる電光掲示板でも呼びかけを行っています。

を設置しています。

以上の北大学生の自転車を点検することができました。北大生協留学生組織委員会と協力して60人程度の留学生の対応も行いました。同時に昨年までに北大学生にとつたアンケートをもとに自転車ハザードマップも作成しました。危険な場所での自転車マナーや交通ルールもわかりやすく掲示し、たくさんの方に覚えてもらい、自転車マナーを意識してもらうことができました。



自転車点検受付の様子



自転車業者さんによる自転車点検の様子

これからもさまざまな人と協力して北大学生の自転車マナーの改善ができる活動を行っていきます。

いじわるじいさん

札幌平岸の天神山緑地公園。我が家に近いところに、札幌出身の作家久保栄の「林檎園日記」の文学碑がある。碑に誘われて『林檎園日記』を読んだ。日中戦争下の林檎農家の日々と没落を描く戯曲だ。林檎の花咲くのを待ち、雨乞いの太鼓を叩く中、戦死がある。今は商店や住宅街の戦時下の姿が、地縁の身近さで想像されてくる。碑は過去への入り口だった▼9月2日、報道で別の碑を知った。東京墨田区の横網町公園の「関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑」。1日この碑の前で行われた追悼式に、都知事は今年追悼文を送らなかった。定例記者会見で虐殺の有無について認識を問われ、「様々な見方があると捉えている」と答えたという▼『関東大震災』(吉村昭著)を再読した。証言や警察の資料等を駆使し、1923年の大震災を地図を埋めるように調べ尽くした作品だ。朝鮮人らが虐殺された経緯も明らかにした。罪のない人を虐殺した、震災下の日本人の異常心理に戦慄した▼知事は虐殺の事実をぼかさうとしているのか。過去に向き合おうとしない発言を聞いて、碑の意味を感じたばかりの私は、その犠牲者追悼碑の存在が特別貴重な事に思えるのだった。(今日子)



キャンパス放浪記 in 函館 … 第13回

函館キャンパスに行ってみた

北海道大学大学院環境科学院 小川 真拓

私は、他大学から北大の大学院に入学した。そして、函館の他の学部との交流がほとんどない研究室に所属している。函館で暮らし始めて早1年が経ち、函館キャンパスについて感じたことをここに記してみた。

私の所属する研究室は函館キャンパスから少し離れた函館市が管理する研究施設、函館市国際水産・海洋研究総合センターの中に部屋がある。施設は完成してからまだ3年ほどで、北海道の水産試験場や民間企業など様々な組織の関係者に利用されている。

施設正面の埠頭には、水産学部が管理する実習船、おしよ丸(写真1)、うしお丸(航海中のため写真撮れず…)が停泊している。研究室は、水産学部4年生を除き、修士課程以降の学生は環境科学院に所属しているが、海の生物を研究の対象とする研究室であるため、調査のためにいずれかの実習船に乗船する機会がある。もちろん、水産学部の学部生・院生も一緒に乗船することもある。普段はキャンパスに行くことは少ないが、ここで函館キャンパスの学生とも交流する機会がある。こんなことを書いている私だが、実は1度も北大水産学部の実習船には、乗船したことがない。自分が調査に行くフィールドでは、外部機関の調査船であったり、現地にある漁船であったりと、なかなかチャンスが巡って来なかった。研究室の先輩の話によると、うしお丸の食事がとてもおいしいようだ。卒業するまでには、ぜひとも1度は乗りたいと思っている。



写真1 函館どつくに停泊するおしよ丸

普段の文献閲覧では、インターネットを使って論文をダウンロードすることが多いが、専門書やダウンロードできないものは函館キャンパスの図書館(写真2)で借りることができる。図書館は、水産や海洋に関する学術誌が豊富であるため、私も時々利用することがある。また、研究室のゼミや大学院の講義でも年に数回、函館キャンパスを訪れることがあり、生協の食

堂やキャンパス周辺の定食屋でご飯を食べることも楽しみのひとつである。キャンパス周辺には、函館おなじみのハンバーガーチェーン店「ラッキーピエロ」、「みなと食堂」、「良ちゃん」などのボリュームのあるご飯が食べられる店が隣接している。



写真2 函館キャンパスの図書館入口

少し話題が変わるが、毎年秋になると函館キャンパスのグラウンド(写真3)では、研究室対抗のソフトボール大会、通称「やかん杯」が開催される。参加する研究室のほとんどを水産学部が占めているが、私たちの研究室も毎年参加している。やかん杯は試合をする研究室の都合に応じて、臨時の合同チームを編成したり、試合時間を変更したりと和気あいあいと楽しめるように学生どうしで柔軟に調節している。毎年恒例のこの行事は、私のように外部の大学から進学した学生にとって、疎外感を感じずに他の研究室の学生と親睦を深める良い機会なのではないだろうか。

函館キャンパスにはまだまだ、独特な行事や他の学部とのつながりがあるかもしれない。函館に立ち寄る際には、ぜひ函館キャンパスに足を運んで札幌キャンパスにないユニークな面を見つけていただきたい。



写真3 函館キャンパスのグラウンド

読書の秋



北海道大学大学院
法学研究科修士2年
谷 遼大

「読書の秋」と呼ばれる季節がやってきました。大学に在ると、「読書」の重要性がしきりに説かれ、それを認識しつつも、大学(院)生に求められる「読書」とは何なのかという問題にぶつかります。「どのような書籍を大学(院)生は読むべきなのか」。それを考えてみたいと思います。

大学(院)生の「読書」とは？

読書が大事だと説かれた大学(院)生がぶつかる大きな疑問の一つとして、「読書」ってどんな本を読めば「読書」なのかという問題があります。明らかに、先生が薦める「読書」にマンガや週刊誌が含まれないことです。では、大学(院)生に特有の問題として、文学部で歴史を専攻する学生が日本史や西洋史の本を読むのは「読書」なのか(あるいは「勉強」「研究」の一環にすぎないのか)、理学部で生物を専攻する学生が生物の教科書(あるいは自分の専門ではない「化学」の教科書)を読むのは「読書」なのか、という問題があります。その人がその本を読む目的が「勉強」ないし「研究」のために行わざるを得ないものなのであれば、それは「読書」ではないように思われます。ただ、仮に文系の学生が興味関心から自然科学的な書籍を読んだとき、それが大学生に求められ

ているような「読書」であるかと言われると、やはり違和感があります。恐らく先生方が読書を推奨する理由として大きいのは、筆者の思考プロセスを理解し、その思考プロセスから導き出された結論を自らの(あるいは他の論者の)思考プロセスと比較し、批判的に検討する力を身につけるために「読書」の重要性が説かれているように思われます。そのように考えると、絶対的な解が存在することが多い自然科学においては読者が批判的に検討する余地は限られるように思われます。専門的知識が増えるという点は別にしても、先生が求めているような本を読む力として、読者に寄与する点は多くないように思われます。

どのような「読書」をすべきか？

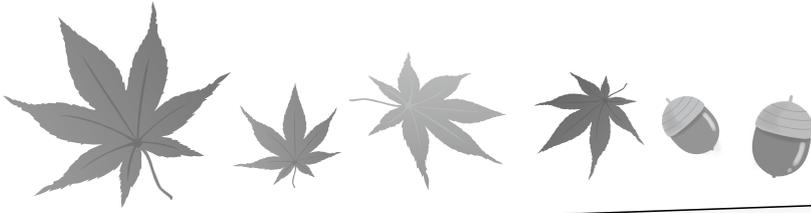
そうであるとすれば、どのように「読書」をするべきなのでしょう。テーマについていえば、読む本は自分の興味関心に沿った上で選択するべきですが、新書などの中でも歴史を紹介する本などは、趣味として読むならともかく、ここでいう「読書」としては好ましくないように思います。また、複数冊の本を読む前提の話ですが、できる限り類似のテーマを扱っている、別の著者の本を読む方がよいように思われます。特に大学生の頃にありますが、一冊しか読まない(難しい内容であればあるほど)その本が述べていることについて納得してしま(鵜呑みにしてしまう)ことが多くなるからです。複数冊を類似のテーマに関して読み、それらを自分の頭の中で比較することを通じて、考える力が養われるように思います。

読書する本の探し方

ただ、今まで読書をしてこなかった人が、読書しようとな念発起したところで一番の障害となるのは、思った以上に自分に興味のあるものを見つけないが大変だということだと思います。一念発起して読み始めたのはいいものの、予想と違って投げ出してしま(う)ことは多々あるのではないのでしょうか。今の時代はインターネットで書評や評価を見ることができ、読む前にある程度の目星を付けた上で読むことがある意味主流となっているとまで言えるかもしれません。ただ、それをどのような人が書いてくるかまでは分かりません。もしかするとこれまで数千冊の本を読んできた初老の方が書いてくるかもしれないし、主婦の方が育児の合間に書いてくるかもしれない。そのような書評ももちろん参考になりますが、人生経験の全く異なる人によって書かれたものだと忘れるべきです。

せん。実際に読んでみたら思ったよりも難しかった、筆者の政治思想が強く出すぎていて嫌になったなど、想像通りにならないこともあるかと思えます。そういう場合は、私たちの場合は、同世代の人たちに読まれ、「いいな」と思われた本を読むのが恐らく一番安定した方法であるように思います。もちろん、人の好みはそれぞれですから、ある程度たくさん本に接することができた方がよいと思います。図書館などでもそういった取り組みは行われていますが、北

大生協でも、毎年「学生が学生に本を紹介する」取り組みとして、「ほんでないかい」という書評誌を発行しているそうです。学生の読む本ですからレベルもそこまで高すぎないものが多い紹介され、自分が興味関心のある分野の本を探すのにも有用であるように思われます。毎年、1月には大学内の各所で入手することができるようです。また、ぜひ他の学生におすすめてほしい本がある方は、書評を投稿することもできるとのことです。詳細は左記をご覧ください。



大学院生の大学院生による大学院生のための書評誌

ほんでないかい -2017-



大学院生のあなたがオススメする本の書評(180文字程度)をジャンルを問わず募集中!

採用されると書籍部利用券800円分プレゼント!!

※複数採用の場合、利用券の上限額は800円までとなります
採用は北大生協組合員に限ります

詳細・投稿はこちらから→
募集締切 11月10日



univ. CO-OP 北海道大学生協同組合院生組織委員会
http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/insei/

f @Hokudainsei_coo

田植え・稲刈り体験に参加して

大学生協では、10年ほど前から、「農業体験・産地交流」を目的とし、全国の大学生協職員・組合員が田植えや稲刈り等を行なっています。今回は南そらち地方で行ないました。

6月3日(土)～6月4日(日)に田植え・農作業を、9月16日(土)～9月17日(日)に稲刈り・収穫をそれぞれJAそらち南さん、大塚ファームさんで体験してきました。JAそらち南さんや大塚ファームさんは有機栽培・減農薬栽培を行なっています。この体験には全国の大学生協の職員・組合員が参加しました。JAそらち南さんでは、実際に田んぼの中に入り、田植えや稲刈りを行い、大塚ファームさんでは、苗を植えたり、収穫体験をすることができました。また、田植えや稲刈りが終わった後は、JAそらち南さんや生産者の方と懇親を深める機会があり、有機栽培・減農薬栽培の苦労等貴重なお話を聞くことができました。

なぜ大学生協で田植え・稲刈り体験を行なうのか？

なぜ大学生協で、田植えや稲刈り等の農業体験を行なうのか？実は、北は北海道から南は沖縄まで、多くの大学生協の食堂で、北海道のお米(ななつぼし)を使用しています。自分達の提供する又は食堂で食べているお米や農作物がどのように作られているかを体験し、また、生産者の方と交流することで、普段、当たり前のように食べているお米や農作物がいろいろな方の大変な努力で作られ、流通していることを実感してもらいたいです。農薬を使用すれば確かに、安価に大量生産が可能です。それでも、みなさんが有機栽培・減農薬栽培に取り組んでいるのは、少しでも多くの方に安心・安全な農作物を届けたいからにほかなりません。

今後に向けて

現在、日本の稲作は、後継者不足、お米離れ等で危機に瀕しているといっても過言ではありません。我々、提供する側(大学生協)や組合員は、よりおいしく提供し、また、おいしくいただくことで、北海道のひいては日本の農業を支えることになるのではないのでしょうか。



教職員組合員加入キャンペーン

10/2(月)～11/30(木)まで

生協の店舗・サービスは、生協に加入してからご利用ください

加入申込

加入の方法

出資金は、5口5,000円をお願いしています。
下記受付店舗へ出資金をそえてお申込みください。

加入手続き受付店舗

生協会館1階、クラークサービスセンター、北部購買、工学部購買、中央購買、水産購買各店のサービスカウンター

プリペイドおよびポイント機能は、大学から発行される「職員証カード」に搭載されます。生協店舗ご利用の際は、職員証カードをご利用ください。



教職員で未加入の方は、上記店舗にご来店いただくか、理事会室(大学内線:3285)にご連絡いただけましたら加入用紙をお届け致します。

加入時の出資金は教職員の方は5千円をお願いしています。転勤・退職等で北大を離れる際には、生協の脱退手続き時に全額返還いたします。

特典

ご利用の際は組合員証または職員証の提示をお願いしております。

書籍

ポイント還元、現金割引セール
通常、IC組合員ご提示で、購入額の5%分のポイントをお付けします。7月には文庫まとめ買いセール、12月には全商品10%割引セールがございます。

定期購読

雑誌や書籍の定期購読は5%割引いたします。

旅行

ホテル「東横 INN」申込み
全国各地に展開中のホテルチェーン「東横 INN」を組合員価格にてご利用いただけます。

購買

灯油定期配送

組合員価格で定期配送。

自動車学校入校

生協窓口のお支払いで、直接入校より約16,000円お得にご利用出来ます。

スーツ購入

提携店にて組合員価格で購入できます。

保険サービス

自動車保険申込

団体・集団扱い保険料で加入(北海道協同保険サービス)。

11月30日(木)までに加入申込みの方は、①チャージ1,000円②100ポイント
③書籍割引パス④「ライスまたは小鉢」無料券を特典としてプレゼント。

加入していない方をご紹介いただいた方にも
チャージ1,000円と書籍割引パスをプレゼント

ポイント還元

書籍購入5%、食堂・購買での食品購入1%

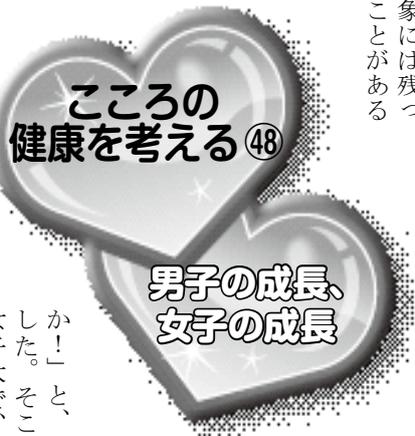
心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



大学で教える仕事をしていると、日々、若い人々と接することになります。その中で感じるのですが、女性の方が、男性よりも成長するのがかなり早いのではないのでしょうか。何をいまさら、当たり前だろう、と先生方から叱られそうな気もしますが、なにせ私は女子大教師が長かったもので。そういうえば、初学者として心理支援の道を歩みだした若いころ、あれこれと教えてくださったベテランの精神科医の先生から、よくこんなことを言われました。女性、男性より五年分早く成長するんだよ、女性は精神的には、五歳年下の女性とちょうど合うんだ。わかるかい、わたなべ君？ …人一倍成長の遅いわたなべ君には、わかったようなわからないようなところでした。でもとても印象には残っています。今でもときどき思い出すことがあるのです。



と云った穏やかな内容が多いのだそうです。まあ、女子の方は、放っておいても自然に大人になる面が、強いということですね。逆に、男子は放っておくと大人にならないので、がっつり負荷をかけて人為的に大人にしてしまう、というところでしょうか。

それともう一つ私が思うのは、思春期以降の女子同士の複雑な関係の影響があるのではないかとことです。ロザリンド・ワイズマンという米国人女性の書いた、『女の子って、どうして傷つけあうの?』という本があります。すごい日本語タイトルですが、原題も『女王バチと、そうなりたくてなれないハチたち』といったものです。美少女で成績優秀、クラスの女の子たちに隠然たる力を持つ女の子、その取り巻きたち、情報通、ポツンと孤立している子、そういった少女たちの間の複雑な力関係と人間模様：私は読んで、「ほんとうか!」と、とても驚いたのでした。そこで当時勤めていた女子大で、レポート課題用の文献に入れておいたところ、二十人くらいの人が読んでくれました。三分の二の人たちは、「この通りでした」、残り三分の一は、「ここまですごくはないけれど」、でした。ほんとうなんだ。それ以来、女子はこの荒波に生き残った人だけが大学までたどり着いているんだな、と思っています。

男子については…やばい俺たち! どうする? と思いつつも、男子はそんなに早く大人にはなれないんだよ、長い目で見てくれないかなあ、と考えるようになっていきます。百五十歳まで生きられるようになってるんじゃないの? と、はんぶん呆れたように言ったヨメさんの声、今でも心の中で聞こえています。

ほけんのお話

損害保険も生活に合わせて補償を考えることが大事です。例えば、自動車保険の保険料を決める「車種」「型式」「等級」「免許の色」「運転する人」などの中で、「運転する人」は、運転者の範囲と年齢条件を組み合わせて、実態に合わせて補償・条件を考えます。

- ① 夫婦しか運転しない：本人・配偶者限定にして、年齢条件は若いほうに合わせる。
- ② 同居の大学生の子どもが免許を取って頻繁に家の車に乗る：家族限定にして年齢条件は子どもに合わせる。
- ③ 近くに住む息子夫婦も時々運転する：年齢条件をそのままに運転者限定をなしにする。
- ④ 息子夫婦が同居して家の車を使う：限定条件は家族限定、年齢条件は若い人に合わせる。

自動車保険も保険期間途中で補償を何度でも変更できるの、代理店に電話をかける素早く対応してくれます。こんな時、身近な代理店がとても使いやすいはず。子どもが自動車免許を取り、運転できるように自動車保険を変更すると、年齢条件が全年齢になり、とても保険料が高くなります。最近

は1日だけの自動車保険があり、これを組み合わせて検討することも多いと思います。

自動車保険のことは、大学の中にある北海道協同保険サービスにお気軽にお問い合わせください。



「文化財へ行く」第3回は、植物園内のバチエラー記念館を題材にしてゆきます。この建物は、明治10（1877）年に来日した英国人宣教師であるジョン・バチエラーの邸宅です。バチエラーはアイヌ語の辞書の編集やアイヌ民族のための学校、病院を設置したことで、「アイヌの父」とも呼ばれていました。この邸宅はもともと植物園の外、現在の道庁別館付近に建てられていたのですが、昭和37（1962）年に北海道庁から北海道大学に移管され、植物園に移築されました（写真1）。移築から25年ほどはアイヌ文化

文化財へ行く

第3回

～「文化財」とは何だろう～

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園
加藤 克



現在のバチエラー記念館正面



写真1 移築直後のバチエラー記念館、当時機関車も展示されていた。

資料の展示室（写真2）として公開されていましたが、現在は収蔵施設として非公開になっていますので、外観を見ておくことにしましょう。建物を一回りすると奇妙なことに気づきます。



写真3 バチエラー館西側壁面

建物の改変
写真に見るように、建物の東側には1階・2階とも窓がありますが、西側には窓がありません（写真3）。なぜこのような形状になっているのでしょうか？この構造はバチエラーが住んでいた時からのものではなく、移築にあたって展示室として利用するために、資料の保全を目的として窓のない形に改変してしまっただけです。



写真2 移築直後の内部の様子。アイヌ民具資料の展示室として利用されていた。

残されているバチエラー邸の写真を見ると、西側にあたる壁面にも窓が確認できますし、屋根には煙突や十字架も設置されていて、原形とはかなり異なる形状になっていることが分かります。奇妙な形状に対する疑問から、建物の利用の歴史に思いをはせることも可能なのです。その一方で、建物が改変されたことで管理上の問題も生じています。

「重要でない」文化財？

この記事を持って植物園に行ってみましょう。さらにおかしなことに気づくのではないのでしょうか。

現在バチエラー記念館がある場所は、写真よりも北側になっているのです。これは、平成元（1989）年に周囲の博物館建築群が重要文化財に指定された際に、もともと博物館に係る建物ではないことと、原形を保持していないために文化財として指定されず、景観の整備を目的として曳家されたのです。バチエラー記念館は平成12（2000）年に登録文化財として指定されましたが、周辺の重要文化財建築との扱いの差は大きく、近年行われた耐震補強工事の対象から外されただけでなく、基本的な補修も行われていないため、劣化が進み、周辺の建物とのアンバランスが際立ってきています（写真4）。



写真4 劣化が進む窓周辺の様子

最後に、「文化財」とは何だろう、という問いかけをしたいと思えます。原形が保持されていないバチエラー記念館は建築文化財としての価値は高くないかもしれませんが、卒業研究の題材として利用した工学部の学生にとっては、教育文化財として重要なものかもしれません。また、バチエラー邸の歴史的价值を評価して、多くのバチエラー研究者が記念館を訪問しています。「文化財」としての価値は、誰かが決めた看板ではなく、利用する個人々人の心の中にあるのではないのでしょうか。北大のキャンパスが誇る重要文化財建築群は重要だから残ったのではなく、北大が残し続けてきたからこそ重要になったのです。重要であるかどうかを一面的な価値基準で判断するのではなく、多様な観点から、現在の、そして未来の文化財を守ることがキャンパスの魅力をより高めることにつながるのではないのでしょうか。

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■共済活動「自転車企画」

7月20日・21日に第2体育館近くの広場で自転車無料点検企画を行いました。学生生活110番を扱っているJBRさんと協力して点検したほか、ハザードマップの掲示や冊子配布等を通して、自転車マナーについての呼びかけも行いました。自転車点検を通して、自転車事故の軽減につながっていきます。また、北大生の自転車マナーに関しては様々な取り組みをしていきます。本誌2ページにも記事がございますのでご覧ください。

■オープンキャンパス活動

8月5日～8日にかけて、オープンキャンパスに来た受験生に向けた活動を行いました。受験生応援冊子「NITOVE」、現役北大生と直接対話できる「北大生と話そう」、北大構内を案内する「道案内」、北大生の生活の様子や受験生時代の様子を写真などで紹介する展示企画などの企画を行いました。また、昨年同様、いくつかの質問によりおすすめ学部を紹介する「学部ラリー」も行いました。後期からは、受験生・新入生に向けた活動が増えていきます。よろしくお願ひします。

■学生委員会公式HP

<http://hokudai.gi.web.fc2.com/>

■学生委員会公式Twitter

@HU_COOP_GL_CS

■学生委員会連絡先

gakusei@coop.hokudai.ac.jp

院生委員会

①「ほんでないかい2017」作成開始!

今年も、院生書評誌「ほんでないかい2017」を作成いたしました。今年の特別インタビューは、北大に入学した、HTBマスコミキャラクター「Onちゃん」を予定しています。

どんな話を聞くことができるか、このご期待!

「ほんでないかい2017」の書評は、11月10日まで募集しています。投稿・詳細は学内に掲示してあるポスターをご覧ください。か、北大生協HPをご覧ください。

教職員の皆様におかれましては、ぜひ研究室の院生さんにお声がけをお願いします。

大学院生の大学院生による大学院生のための書評誌
ほんでないかい -2017-
 大学院生のあなたがオススメする本の書評(180文字程度)をジャンルを問わず募集中!
 採用されると書籍部利用券800円分プレゼント!!
※書籍部利用券は、制作者の上乗額は800円までとなります
 採用は北大生協組合員に限りです
 詳細・投稿はこちらから→
 募集締切 11月10日
 北海道大学生協同組合院生組織委員会
<http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/insei/>
 @Hokudainsei_coo

留学生委員会

■「CO-OPインターナショナルアワー」

留学生のみならず困っていることや生協への要望などを自由に話し合える場を7月25日に開催。参加費無料で日本の夏の家庭料理をハラルで用意しました。「UMAMI」や「DASHI」が食べられるのかとの問合せがあり、運営上定員30名としていましたが、ドタキャンもあり参加者は22名。当日は土用丑の日で、その説明と鰻は避けて蛸を使って、夏を元気に過ごすコツも伝えました。和やかな雰囲気の中、西瓜を出すと歓声があがり、次々手を伸ばして頬張っていました。(果物が高くて買えないと知り)「九州北部豪雨災害支援募金」のお願

いを英語と2種類の中国語で作った募金箱を手に、委員から災害状況を伝えたとこる1000円札2枚を含む3005円の心温まる募金が集まりました。



■「新入留学生歓迎企画予定」

- ① 大学主催「新入留学生オリエンテーション」参加 10月2日(月)
- ② パーティーチケット...①終了後16時から販売開始
- ③ 新入留学生ウェルカムパーティー 10月6日(金) 中央食堂2階

教職員委員会

■教職員総代会議・学内7ヶ所所8月を除く毎月1回、昼休みを利用して開催しています。生協の営業報告の後、教職員の皆様に利用者の立場から色々なご意見をうかがっています。

8月は夏休みのため開催していません、9月は12日・14日に開催しました。

■教職員委員会・毎月1回、18時～19時半に開催しています。総代会議で上がった組合員の声についての検討、きぼうの虹の編集・発行について討議しています。

8月は夏休みのため開催していません、9月は19日に開催しました。

■「きぼうの虹」:この冊子です。教職員委員会が編集し偶数月に発行しています。

今号は冒頭のOpinionに生協職員古株の軸丸さんに登場いただき、北大生協70周年記念事業のイントロをとめていただきました。また、院生委員会の谷さんに読書についての記事もお願いしています。

■編集後記

きぼうの虹372号をお届けします。

北大生協が発足してから70年の節目を迎えました。今後12月から来年1月にかけて記念のセールやイベントが企画されています。詳しくは別の機会に皆さんにお知らせできるように画策中です。乞うご期待!